上尾市立中央小学校 学力向上プラン「グランドデザイン」

学校教育目標
「たくましい子の育成」
〇健康で明るい子　〇進んで学ぶ子　〇思いやりのある子

学校課題研究主題
「学習や生活の見通しをもち、粘り強く取り組む児童生徒の育成」
−自分軸の確立をする研究−

学力・学習状況調査の結果

R8 全国学力・学習状況調査	R8 埼玉県学力・学習状況調査	R7 上尾市立小・中学校学力調査
・全体の平均正答率は、国語、算数ともに全国や県の平均正答率を上回っている。 ・国語、算数ともに知識・技能の習熟はみられる一方、思考・判断・表現の問題の正答率がやや低い傾向がある。 ・国語では、「B 書くこと」の平均正答率が他項目と比較するとやや低い。 ・算数では、「C 変化と関係」「D データの活用」の平均正答率が他項目と比較するとやや低い。 ・問題形式別に見ると記述式の問題に課題がある。	・学力レベルは、４～６年生で国語・算数ともに県を上回っている。 ・５年生では、学力レベルは昨年度から国語・算数で２段階以上、上昇し、６年生では、昨年度からの伸びがみられた。 ・主体的・対話的で深い学びの実施については、全ての学年が県の平均を上回っている。 ・学習方略は、努力調整方略で県を上回る一方、昨年度からの変化量では全体的に減少傾向となった。（５年） ・非認知能力は、自制心の変化量は昨年度同様である一方で、自己効力感は－０．２となっている。（５年）	・国語では２年～５年が、算数では２年、４年が標準値を上回っており、その他の学年も目標値の点数は超え、基礎的な学力は定着している。 ・２～５年生では、領域別「書くこと」、内容別「文章を書く」が目標値をやや下回っており課題が見られる。 ・算数では、多くの学年で目標値を上回っているが、「活用」の問題に課題がみられ、基礎的な学力は定着しているが、それを活用して問題を解くことが課題である。

本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
①漢字や言葉の意味など、言語に対する理解と使いこなす語彙力。 ②自分の思いや考えをまとめる力や条件に合わせて書くなど表現を工夫して書き表す力。 ③問題解決に必要な知識や応用する力。	④分かりやすく、論理的に伝える表現力。 ⑤題意を正確に捉え、筋道を立てて考える判断力・思考力。	⑥自分の思いや考えをもち、言葉を通じて自己を表現し、意欲的に学び合う楽しさを味わおうとする態度。 ⑦問題解決において、多面的に考えようとする態度。

学力向上のための授業改善

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
・読書指導・辞書引き活動・漢字や言語指導を継続的に行う。 ・文章構成や、自分の考えをまとめて表現することを意識した書く指導を取り入れる。 ・自力解決の時間を確保し、問題に繰り返し取り組ませる。	・論理的に思考し、表現する力を身に付けるためにペアやグループ学習を取り入れ、意見交流や互いに説明し合う時間を設定する。 ・筋道を立てて考えたり、生活と関連付けて考えたりする力やプログラミング的思考を養えるよう、ＩＣＴ機器や実物を効果的に活用する。	・自分の思いや考えをもち、進んで自己表現しながら意欲的に学び合う態度を育てるための話合い活動を意図的に取り入れる。 ・問題解決において、多面的に考え、主体的に学び合う態度を育てるためにＩＣＴ機器を活用し、学習形態や表現方法を工夫する。

本校の特色ある取組		家庭教育との連携
・基礎・基本の徹底	・読書習慣の定着	・積極的な情報提供
・言語環境の整備	・体力向上	・家庭との連携の充実
・外国語活動の取組	・道徳科の取組	・地域との連携の充実
・ＩＣＴ機器の活用		